議会運営委員会・協議事項

平成23年1月6日

1　弁明書について

2　質疑について

3　その他

案

弁　明　書

議会解散請求に対する名古屋市会の弁明の要旨

私たち名古屋市会は、多くの市民の皆様が議会の解散を求める署名に応じたことを大変重く受け止めております。

私たちは、これまで二元代表制及び議会制民主主義を尊重する立場からも、市民の皆様の生活を守ることを第一に考えて議論をし、また、市長からの提案事項についても真摯に議論を行ってまいりました。今後さらに、市民生活第一に、議会改革に取り組んでまいる決意です。

しかしながら、この時期における議会の解散には

１、４月以降の市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがある

２、３億２千万円もの税金を使うことになる

等の懸念があります。

従いまして、市長主導によるこの時期の議会の解散には「反対」です。

４月以降の市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあります

来る２月２１日からは平成２３年度予算の使い道を審議する２月定例会が予定されております。

① 今、議会が解散されれば、来年度予算が決められなくなるおそれがあります。

② 緊急の課題である景気・雇用対策や福祉・教育の分野の施策を決めることができなくなり、４月以降の市民の生活に大きな影響を及ぼすおそれがあります。

３億２千万円もの税金を使うことになります

今、議会を解散しなくても、もともと４月１０日には、市議選と県議選が予定されています。仮に解散となると、市議選と県議選が別々の日に行われることとなり、１か月市議選を早く行うためだけに３億２千万円の税金が余分にかかります。

質疑通告者一覧

個人質疑

江上博之君（共産）

1　補正予算に関する専決処分について